

令和7年12月7日

会長 齋藤武久様

事業部長 矢澤 正司

令和7年度救急救命講習会実施結果報告書

標記のことにつきまして、下記のとおりご報告いたします。

記

1 実施日時

令和7年12月7日(日)午前11時10分～午後0時20分

2 実施場所

公益社団法人神奈川県柔道整復師会仮事務所 大会議室

3 講師

横浜市消防本部港北消防署

小机消防出張所 所長 杉村友希

4 参加者

7名

○ 会員 7名

事業部長 矢澤正司 事業部員 八木雅彦、二宮嘉信 財務部長 田代優樹

協同組合 葛岡美竹、長嶋京子、古屋範明

○ 事務局 1名

松本裕美子

5 実施状況

冒頭、司会進行役の矢澤部長から講師の紹介があり、その後、講師の杉村小机消防所長から、

(1) 横浜市内の救急隊の出動実態

(2) 心臓マッサージのポイント

圧迫ポイント（強さ・深さ）、併行実施される人工呼吸に関する最近の考え方

(3) AEDの構造・使用の有無判断

(4) AED使用時の留意点

被験者の下部は堅めの床（心臓マッサージによる体の沈下を防ぐ）

パッド装着部の湿気ふき取り

パースメーカー使用者に対するパッド装着位置の確認

装着したパッドは剥がさず、救急隊に引き継ぐ

下着は破かずにパッド装着がしやすいようにずらす
等の説明を受けた後、ダミーを使い、2人1組になって意識不明者発見を想定した
AED装着体験をした。

また、AED装着訓練では、AEDを必要とする意識不明者を発見した場合に取るべき措置を教授され、

- (1) 発見時の周辺安全確認
- (2) 意識有無の確認方法
- (3) 周辺者への救急隊派遣依頼とAED提供要請
- (4) AED実施と心臓マッサージの継続

を行うとともに、AEDによる電気ショック必要の判断は、AED本体に組み込まれた装置が解析・判断するので、自己判断しないようことが肝要であるとの説明を受けた。

6 成果

AED装着体験後の質疑応答では、

- (1) 交通事故などによる頸椎損傷者への対応要領
- (2) 心臓マッサージ中に蘇生した場合の自発呼吸と半落ちの見極め
- (3) 交通事故現場でのヘルメットの取り外し

等を質問し、講師からそれぞれ回答を頂くなど、柔道整復師としての現場対応の在り方が確認できた有意義な研修会であった。

7 参考

状況写真を添付する。

以上



開 会 の 辞



講師 杉村友希様



受 講 風 景



受 講 風 景



受 講 風 景



受 講 風 景



受 講 風 景



受 講 風 景